基本目標３　気軽に参加できる環境づくり
取り組みの柱(1)　学ぶ機会の充実
取り組み①　人権や福祉について学ぶ機会を充実させる

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
65	ア. 人権や福祉をテーマとした講演★　会、学習会などを開催します。	○精神保健福祉講演会	元気づくり課と合同で開催した。 （令和2年2月8日（土）） 講演題目：「こころの健康～家族からの支援～」 講演内容：訪問看護の現場を踏まえた、回復力を促す家族の接し方、家族に知ってほしいことについての講演。	講演会回数	1回	福祉課	62
		○行政出前講座 ○認知症サポーター養成講座	団体等からの要請に基づき、行政出前講座や認知症サポーター養成講座を開催した。 行政出前講座 介護保険について6回、地域包括支援センターについて4回、高齢者支援について3回、健康フェスタ6回 認知症サポーター養成講座 団体等の要請や市の主催により、高校、大学、企業、一般市民等に対し14回の養成講座を実施し、201人が新たにサポーターとなった。	開催回数（行政出前講座） 開催回数・受講者数（認知症サポーター養成講座）	19回 14回・201人	高齢者支援課	
		○市民講演会	同和問題啓発強調月間に市民講演会を開催した。 ・日時　7月13日（土）10：00～11：30 ・講師　坂田かおりさん、坂田愛梨さん（母娘） ・演題　「母から娘へ娘から子へ今、伝えたいこと～部落差別から人権を考える～」	市民講演会の開催	1回	人権政策課	
		○人権講座「ひまわり」	夜講座：全5回、南隣保館（4回）、プラム・カルコア太宰府（1回）受講者576名 昼講座：全1回、太宰府特別支援学校、受講者72名	開催回数 参加者	全6回 648名	社会教育課	

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
66	イ. 各課で開催を予定している人権や福祉をテーマとした講演会などについて、調整の機会を設け、それぞれを関連づけるなどの工夫を凝らすことで、より充実した企画にします。 ★	○障がいに対する理解の啓発	元気づくり課と合同で開催した。 （令和2年2月8日（土）） 講演題目：「こころの健康～家族からの支援～」 講演内容：訪問看護の現場を踏まえた、回復力を促す家族の接し方、家族に知ってほしいことについての講演。 障害者差別解消法に関する啓発について、市民対象には、市広報による啓発を行った。	講演会回数	1回	福祉課	62
		○認知症サポーター養成講座	各課が持つ関係団体(民生委員や健康推進員）に対し認知症サポーター養成講座を実施した。 団体等の要請により、高校、大学、企業、一般市民等及び市の主催で「高齢者等見守り活動に関する協定」締結事業者に対し合計14回の養成講座を実施し、201人が新たにサポーターとなった。	―	―	高齢者支援課	
		○人権啓発事業企画運営会議	令和元年度は年8回実施。啓発冊子編集、啓発強調月間市民講演会や人権講座「ひまわり」の講師選定等を行った。 （委員13名・関係課長6名）	冊子作成 講師選定	29,000部 7名	人権政策課 社会教育課	

■成果目標

成果目標	計画書の記載内容		令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
	★特に関係する取り組み	令和元年度の実施項目					
⑱ 人権や福祉をテーマとした講演会、学習会などの開催 （目標値： 年6回） ※目標値は全課合計	ア、イ	・講演会、学習会などの開催（年6回）	○精神保健福祉講演会：1回 （令和2年2月8日（土）） 講演題目：「こころの健康～家族からの支援～」	講演会回数	1回	福祉課	62
			団体等からの要請に基づき、行政出前講座や認知症サポーター養成講座を開催した。 行政出前講座 介護保険について6回、地域包括支援センターについて4回、高齢者支援について3回、健康フェスタ6回 認知症サポーター養成講座 団体等の要請により、高校、大学、企業、一般市民等及び市の主催で「高齢者等見守り活動に関する協定」締結事業者に対し合計14回の養成講座を実施し、201人が新たにサポーターとなった。	開催回数（行政出前講座） 開催回数・受講者数（認知症サポーター養成講座）	19回 14回・201人	高齢者支援課	
			同和問題啓発強調月間の取組として「市民講演会」を開催（7月13日（土）講師：坂田かおりさん、坂田愛梨さん：参加者310名） また、社会教育課主催で、あらゆる人権問題をテーマにした人権講座「ひまわり」を年に6回実施した。	市民講演会の開催	1回	人権政策課	
			夜講座：全5回、南隣保館（4回）、プラム・カルコア太宰府（1回）受講者576名 昼講座：全1回、太宰府特別支援学校、受講者72名	開催回数 参加者	全6回 648名	社会教育課	

基本目標３　気軽に参加できる環境づくり
取り組みの柱(1)　学ぶ機会の充実
取り組み②支援する方法について学ぶ機会を充実させる

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
67	ア. 支援する方法、介護の方法、子育て不安の解消などに関する学習会や行政出前講座などを実施し、理解を深める取り組みをすすめます。	○行政出前講座 ○精神保健福祉講演会	○行政出前講座 「障がい福祉サービス」「バリアを発見！～障害者差別解消法～」の2講座を用意しているが開催依頼はなかった。 ○精神保健福祉講演会 （令和2年2月8日（土）） 講演題目：「こころの健康～家族からの支援～」	講座開催回数 講演会開催回数	0回 1回	福祉課	64
		○行政出前講座	高齢者の現状や介護保険制度を理解してもらうため、また、各種の高齢者福祉サービスの利用促進に向け、団体等からの要請に基づき、行政出前講座を開催した。 行政出前講座：介護保険について6回、地域包括支援センターについて4回、高齢者支援について3回、健康フェスタ6回	開催回数	19回	高齢者支援課	
		○サークルへの支援	子育て支援のネットワークづくりとして、サークル同士の情報交換や連携の場を提供した。	サークルのイベントへの協力 情報交換会回数	サークル活動支援2回・サークル合同イベント1回 3回	元気づくり課	
68	イ. ★ 地域、幼稚園・保育所、小中学校、とりわけ、住民が訪れる機会が多い事業所において、認知症サポーター養成講座を開催するとともに、子育てを支援する人、生活支援サポーターなどの養成講座についても開催します。	○認知症サポーター養成講座	団体等の要請により、大学、企業、自治会、一般市民（社協主催）等に対し22回の養成講座を実施し、354人が新たにサポーターとなった。 団体等の要請や市の主催により、高校、大学、企業、一般市民等に対し14回の養成講座を実施し、201人が新たにサポーターとなった。	開催回数・受講者数	14回・201人	高齢者支援課	64

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
		○サークルへの支援	子育て支援のネットワークづくりとして、サークル同士の情報交換や連携の場を提供した。	―	―	元気づくり課	
69	ウ. 支援する方法、介護の方法、子育て不安の解消などについて学ぶ機会に多くの参加者を募るため、その開催などに関する情報伝達を工夫するとともに、会場で乳幼児などを預けることができるようにします。	○職員研修	障がい者差別解消法の職員研修を実施し、職員に対して、障がいの理解や配慮について学習する。各職場での実践につながることを期待している。テーマ「聴覚障がいのある人に対する対応の工夫について」。	研修会回数	1回	福祉課	64
		○学ぶ機会等における参加者増対策	行政出前講座、認知症サポーター養成講座については団体等からの要請に基づき開催しているが、土日曜日及び夜間の開催についても可能な限り対応した。 行政出前講座 介護保険について6回、地域包括支援センターについて4回、高齢者支援について3回、健康フェスタ6回 認知症サポーター養成講座 団体等の要請や市の主催により、高校、大学、企業、一般市民等に対し14回の養成講座を実施し、201人が新たにサポーターとなった。	開催回数（行政出前講座） 開催回数・受講者数（認知症サポーター養成講座）	19回 14回・201人	高齢者支援課	
		○託児の実施	保健センターと子育て支援センターが実施する教室や講座等の事業において、託児を実施した。 【子育て支援センター】：にこにこ講座5回、おやつ作り講座2回、ファミリー・サポート・センター会員登録講習会12回 【保健センター】：食生活改善推進会教室5回、集団健診6回、離乳食教室：8回、母親教室：1回、母乳相談：12回、4か月健診：17回、3歳児健診：16回、1歳6か月健診：16回、両親教室：1回	実施回数	101回	元気づくり課	

■成果目標

成果目標	計画書の記載内容		令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
	★特に関係する取り組み	令和元年度の実施項目					
⑲ 認知症サポーター、子育てを支援する人、生活支援サポーターなどの養成講座の開催 （目標値：内容ごとに年2回）	イ	・養成講座の開催（内容ごとに年2回）	○認知症サポーター養成講座 団体等の要請や市の主催により、高校、大学、企業、一般市民等に対し14回の養成講座を実施し、201人が新たにサポーターとなった。	開催回数・受講者数	14回・201人	高齢者支援課	65
			○子育て関連のサークル活動の支援及び情報交換会：計6回 ○ファミリー・サポート・センター会員登録講習会：年6回	参加者数（延べ）	52人 99人	元気づくり課	

基本目標３　気軽に参加できる環境づくり
取り組みの柱(2)　地域での参加機会の推進
取り組み①　気軽に参加できる交流の場を広めていく

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
70	ア．地域で取り組む交流の場や機会の活動を支援します。★	○行政出前講座 ○障がい福祉団体への支援	行政出前講座のメニューを用意しているが依頼はなかった。 地域で活動している障がい福祉団体の活動への支援を行った。また、障がい福祉団体が主催する、ボッチャ大会の支援を行った。	出前講座回数	0回	福祉課	67
		○介護予防・生活支援活動団体補助事業 ○介護予防・日常生活支援総合事業	地域の任意団体が実施する介護予防・生活支援等の活動に対し財政支援を行った。 一般介護予防事業における地域介護予防活動支援事業として地域で実施する介護予防の活動に対し、講師の派遣を行った。	助成団体数・金額 派遣団体数・講座参加人数	48団体・4,297,400円 25団体・703人	高齢者支援課	
		○地域子育てサロン（出前保育） ○サークル活動への支援	地域子育てサロン（10カ所）への訪問支援を実施した。（参加者数2,627人、年間実施回数：104回） サークル活動の支援や情報交換を年6回実施した。（参加者数：延べ52人）	参加者数（延べ）	2,679人	元気づくり課	
71	イ．家族介護者もしくは子育て家族の保護者、地域活動支援センターなどでの障がいのある人同士などが、お互いに悩みを語り合い、交流を深めることができる場や機会を充実させます。★	○障がい福祉団体への支援	地域で活動している障がい福祉団体の活動への支援を行った。また、障がい福祉団体が主催するボッチャ大会の支援を行った。	－	－	福祉課	67
		○認知症カフェ	NPO法人が主催する「あんしんオレンジカフェ」に認知症地域支援推進員、市が参加。活動に対し支援を実施。また、第１回福岡県認知症カフェ推進協議会へ参加し、認知症カフェのあり方、取り組み団体の事例についての情報収集を行った。	認知症カフェ設置数	１団体	高齢者支援課	

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
		○地域子育てサロン（出前保育） ○サークル活動への支援	地域子育てサロン（10カ所）への訪問支援を実施した。（参加者数2,627人、年間実施回数：104回） サークル活動の支援や情報交換を年6回実施した。（参加者数：延べ52人）	参加者数（延べ）	2,679人	元気づくり課	
72	ウ. 公共施設などのバリアフリー化の実施と、交通バリアフリーの啓発をすすめ、交流の場や機会への参加の妨げを解消します。	○誘導ブロックの設置	誘導ブロックを設置するときには、設置前に身体障害者福祉協会の会員さんに現場立会を依頼し、助言をいただいた（通古賀三丁目の誘導ブロック）。	－	－	福祉課	67
		○公共施設のバリアフリー化	＜学校＞太宰府西中学校屋内運動場への車いす用階段昇降機、屋内運動場玄関および柔剣道場につながるスロープを設置し施設の段差解消を行った。	－	－	管財課	
		○バリアフリー化や交通バリアフリーの啓発・推進	交通事業者に対して、必要に応じてバリアフリー化やユニバーサルデザインの視点から協議できる体制の検討を行った。	－	－	都市計画課	
		○道路新設改良事業	道路新設改良事業により歩道を整備する場合は、視覚障がい者誘導ブロックの設置を行った。 ○通古賀3丁目歩道誘導ブロック補修　L=117m 道路新設改良事業により歩道拡幅、段差解消を行った。 ○青葉台1号線歩道拡幅・段差解消　L=89m	誘導ブロック設置距離	L=117m	建設課	

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
73	エ. 民間や企業などにユニバーサルデザインの啓発をすすめ、交流の場や機会において企画するさまざまな屋外事業について、参加への妨げを解消します。	○ユニバーサルデザインの啓発・推進	交通事業者に対して、必要に応じてバリアフリー化やユニバーサルデザインの視点から協議できる体制の検討を行った。	－	－	都市計画課	67

■成果目標

成果目標	計画書の記載内容		令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
	★特に関係する取り組み	令和元年度の実施項目					
⑳ 交流の場や機会の実施	ア、イ	・実施グループに対する支援	行政出前講座のメニューを用意しているが依頼はなかった。 地域で活動している障がい福祉団体の活動への支援を行った。また、障がい福祉団体が主催するボッチャ大会の支援を行った。	出前講座回数	0回	福祉課	68
			地域の任意団体が実施する介護予防・生活支援等の活動に対し財政支援を行った。 一般介護予防事業における地域介護予防活動支援事業として地域で実施する介護予防の活動に対し、講師の派遣を行った。	助成団体数・金額 派遣団体数・講座参加人数	48団体・4,297,400円 25団体・703人	高齢者支援課	
			子育て関連のサークル活動の支援及び情報交換会：6回 ※上記2項目の参加者数が延べ52人 地域子育てサロンへの訪問支援：104回、サロン数10カ所、参加者数2,627人	参加者数（延べ）	2,679人	元気づくり課	

基本目標３　気軽に参加できる環境づくり
取り組みの柱(2)　地域での参加機会の推進
取り組み②　地域の活動や行事を参加しやすくする

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
74	ア. 自治会、また、子ども会や長寿★クラブなどの各種団体への加入の促進、もしくは加入の継続を求めるための取り組みを充実させます。	○自治会への加入促進	地域の活動を広く知ってもらうため、毎月、「広報ださいふ」で校区自治協議会主催行事や地域の活動を紹介している。 市民課窓口で転入者に対して自治会加入促進のチラシを配付した。 自治会活動に対する助言を適宜行った。	広報掲載回数	12回	地域コミュニティ課	70
		○長寿クラブへの加入促進	太宰府市長寿クラブ連合会及び単位長寿クラブに対し財政支援を行った。また、会員等の増に向けて、長寿クラブ連合会の役員と協議を重ねるとともに広報ださいふや長寿クラブ連合会独自の会報に加入促進記事を掲載した。	長寿クラブ連合会加入団体数・会員数 広報掲載回数	25団体・1,366人 1回	高齢者支援課	
		○子ども会への加入促進	1月、2月に7小学校で行われる新入生保護者説明会において、太宰府市子ども会育成会連合会の運営委員が子ども会の加入促進のPR活動を行った。一部の単位子ども会は、説明会以外でも様々な行事においてPR活動を行った。また、社会教育委員の会「地域子どもの日」事業を3自治会でモデル的に実施。子ども会に入りやすい地域を様々な団体と協力しながら作っていった。令和元度末の時点で１９自治会にて活動中。	加入率 実施自治会数	56.5% １９自治会	社会教育課	
75	イ. 自治会や各種団体などが連携した活動を支援します。	○自治会及び校区自治協議会への支援	毎月の校区自治協議会役員会に参加し、関係課や他団体との調整を行うなど、自治会や校区自治協議会の活動の支援を行った。	－	－	地域コミュニティ課	70
		○地域における高齢者支援事業の創設	生活支援体制整備事業において社会福祉協議会と連携し、地域におけるサロン活動や交流の場等の地域資源の把握に努めた。	－	－	高齢者支援課	

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
		○各種団体活動の支援	共通の目的でもある「子どもの健全育成」を目指し、子ども親善事業やジュニアリーダーズクラブ夏季交流事業、通学合宿等各団体の各種行事支援活動を行った。 また、ジュニアリーダーズクラブの会員減少問題に取組み、学校等へのPRの結果、会員の増加へつながった。	新規会員増加数	11人	社会教育課	
76	ウ. 地域や自治会で行われている活動や行事について広く紹介します。	○市広報への掲載	毎月、「広報ださいふ」で校区自治協議会主催行事や地域の活動を紹介している。	広報掲載回数	12回	地域コミュニティ課	70
77	エ. 地域活動のリーダー役となる人たちに向けた学習会や研修などの充実を図ります。	○自治会長への研修	施政方針や太宰府市の現状をテーマに市自治協議会全体会を5月と11月の2回開催した。	開催回数	2回		70
		○介護予防地域活動のリーダーの育成	介護予防活動のリーダーを育成するため、実施内容について検討を行ったが、育成には至らなかった。	―	―	高齢者支援課	
		○子ども会リーダー研修会 ○ジュニアリーダーズクラブ活動支援	社会教育課主催で、市子連等様々な団体と連携しながら、子ども会のリーダーを育成する事業（子ども会リーダー研修会）を行った。 （参加者） 6月：６７人　10月：５２人　3月：中止（コロナウィルス） ジュニアリーダーズクラブの活動を年間を通して支援した。	参加者	１１９人	社会教育課	

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
78	オ. 地域活動の拠点となる自治会の公民館のバリアフリー化を支援します。 ★	○地区公民館施設整備補助金	地区公民館の改修に対する補助金を交付した。22自治会に補助を行い、バリアフリー化を含む工事としては三条区・湯の谷西区・水城ケ丘区・国分区・芝原区・都府楼区・大佐野台区・坂本区に補助金計13,065,000円を支出した。	－	－	文化学習課	70
79	カ. 交通バリアフリーの啓発をすすめ、地域行事への参加の妨げの解消を図ります。 ★	○交通バリアフリーの啓発・推進	交通事業者に対して、必要に応じてバリアフリー化やユニバーサルデザインの視点から協議できる体制の検討を行った。	－	－	都市計画課	70
		○道路新設改良事業	道路新設改良事業により歩道を整備する場合は、視覚障がい者誘導ブロックの設置を行った。 ○通古賀3丁目歩道誘導ブロック補修　L=117m 道路新設改良事業により歩道拡幅、段差解消を行った。 ○青葉台1号線歩道拡幅・段差解消　L=89m	誘導ブロック設置距離	L=117m	建設課	

■成果目標

成果目標	計画書の記載内容		令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
	★特に関係する取り組み	令和元年度の実施項目					
㉑ 自治会、また、子ども会や長寿クラブなどの各種団体への加入率増加 （目標値：各種団体の状況により個別に設定） ※目標値（30年度まで） ：自治会（95%） ：太宰府市長寿クラブ連合会（1,400人） ：太宰府市子ども会育成会連合会（全小学校児童数のうち66%、2700人）	ア	・活動内容、活動意義などを市民に広く紹介	毎月の校区自治協議会役員会に参加し、各自治会の現状把握に努めた。 毎月、「広報ださいふ」で校区自治協議会主催行事や地域の活動を紹介している。 市民課で転入者に対して、自治会加入促進のチラシを配付した。	自治会加入率	93.6%	地域コミュニティ課	71
			太宰府市長寿クラブ連合会及び単位長寿クラブに対し財政支援を行った。また、会員等の増に向けて、長寿クラブ連合会の役員と協議を重ねるとともに広報ださいふや長寿クラブ連合会独自の会報に加入促進記事を掲載した。	長寿クラブ連合会加入団体数・会員数 広報掲載回数	25団体・1,366人 1回	高齢者支援課	
			○太宰府市子ども会育成会連合会 7小学校で行われる新入生保護者説明会において、太宰府市子ども会育成会連合会の運営委員が子ども会の加入促進のPR活動を行った。 一部の単位子ども会は、説明会以外でも、様々な行事においてPR活動を行った。	加入率	56.5%	社会教育課	
㉒ 公共施設および民間施設のユニバーサルデザイン化やバリアフリー化 （目標値：第四次太宰府市地域福祉計画策定時に、施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思う市民の割合が公共施設65%、民間施設50%） （H28.7～8時点：地域福祉に関する市民アンケートで、公共施設47.9%、民間施設34.6%）	オ、カ	・公共施設の整備 ・民間施設について、地域の組織や団体、事業者、民間企業などへの啓発	既存公共施設の改善については、毎年各施設の担当者からの要望に基づき、一定予算の範囲内で改修を行っている。その中で可能な限り「福岡県福祉のまちづくり条例」に沿ってユニバーサルデザイン化を進めてきた。 〈学校〉太宰府西中学校屋内運動場への車いす用階段昇降機、屋内運動場玄関および柔剣道場につながるスロープを設置し施設の段差解消を行った。	―	―	管財課	71
			交通事業者に対して、必要に応じてバリアフリー化やユニバーサルデザインの視点から協議できる体制の検討を行った。	―	―	都市計画課	

基本目標３　気軽に参加できる環境づくり
取り組みの柱(2)　地域での参加機会の推進
取り組み③　ボランティア活動を参加しやすくする

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
80	ア. 有償ボランティアのあり方や企業の社会的貢献、社会的起業などを含め、あらゆる分野のボランティア活動や市民活動などの非営利活動に関するさまざまな広報活動を充実させます。★	○多種な広報媒体の活用	だんぼ通信6回発行 ボランティア団体一覧発行 ボランティア団体紹介カード作成 ホームページ、facebook、スタッフブログによる情報提供	だんぼ通信発行回数 団体登録者数 個人登録者数	6回 97団体 83人	地域コミュニティ課	73
81	イ. あらゆるボランティアについての取り組みを行う太宰府市NPO・ボランティア支援センターの機能をさらに充実させます。	○スタッフ及びボランティアコーディネーターの育成	スタッフの企画力やコーディネーターの資質の向上のため、研修会等への参加を行い、また、県の事業を利用してセンター機能の充実に努めた。	センター利用者数	3,065人		73
82	ウ. 福祉ボランティアについての取り組みを行う社会福祉協議会との連携体制を整備します。	○社会福祉協議会との連携構築	社会福祉協議会と担当者会議を定期的に行い、連携を図った。また、ボランティア団体一覧表の作成を協力して行った。	担当者会議数	12回		73
83	エ. あらゆる分野のボランティア活動や市民活動などを個人や団体で担う人材育成と継続的な活動のための支援を行います。★	○講座の開催 ○ボランティア活動への支援	ボランティア講座5回 地域支援コーディネーター育成講座4回 「みんなで学ぶ」防災講座5回 避難所運営ボランティア講座1回 社会福祉協議会とのボランティア講座2回 うめさろん相談会～ＮＰＯ法人編～9回 その他、活動に対する相談や情報提供を行った。	講座開催数	26回		73

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
84	オ. ボランティアをしたい人とボランティアを求める人をつなぐコーディネート機能について、あらゆる分野のボランティアにおいて両者のニーズを把握し、信頼関係を深めながら、さらに充実させるとともに、福祉ボランティアに関するニーズについては的確に社会福祉協議会へつなぎます。	○スタッフ及びボランティアコーディネーターの育成 ○社会福祉協議会との連携構築	各分野に精通したコーディネーターを配置した。 スタッフの企画力やコーディネーターの資質の向上のため、研修会等への参加を行った。 社会福祉協議会と担当者会議を定期的に行い、連携を図った。	コーディネーター数 担当者会議数	7人 12回	地域コミュニティ課	73
85	カ. 市内の大学や短期大学などと連携し、学生ボランティアとボランティアを求める人をつなぎます。	○市内の学校との連携	個人・団体ボランティアの登録を行い、ボランティアのニーズに合わせて活動者の募集や情報提供を行った。 また、大学の実習等に積極的に協力している。	短大、大学との連携事業数	4事業		73
86	キ. あらゆる分野のボランティア活動や市民活動などに活用できるよう公共施設を広く開放します。	○太宰府南小学校開放教室及びNPO・ボランティア支援センター会議スペースの貸出	太宰府南コミュニティセンターを市民開放している。 太宰府市NPO・ボランティア支援センターの会議スペースを利用登録団体に開放している。	南コミュニティセンター利用者数	21,635人		73
		○男女共同参画推進センタールミナスの開放及び貸館	男女共同参画推進センタールミナスを市民が学び活動する場とするため、各種情報を収集し広く開放している。	－	－	人権政策課	
		○大宰府展示館及び水城館の開放 ○文化ふれあい館の貸館	大宰府展示館・水城館など、NPO法人や大宰府史跡解説員など市民団体の活動拠点として利用されている。 文化ふれあい館の貸室についても、幅広い利活用を進めている。	－	－	文化財課	

通し番号	行政が取り組むこと	主な事業	令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
		○中央公民館の貸館 ○いきいき情報センターのボランティア支援センターへの部屋の貸出	中央公民館では社会教育法等の規則に則って貸館業務を行った。 いきいき情報センターでは、ボランティアの拠点となるボランティア支援センターに部屋を貸し出した。	―	―	文化学習課	
		○スポーツ施設の優先的な開放	福祉・ボランティア団体が利用する際は、優先的な施設予約や長時間利用ができるよう配慮した。	―	―	スポーツ課	
87	ク. NPO法人を含むあらゆる分野のボランティア団体との連携をすすめるとともに、団体相互のつながりもつくります。	○社会福祉協議会との連携構築 ○ボランティア団体交流会	社会福祉協議会と連携し、登録団体一覧を作成した。 子どもに関する活動をしている団体を対象として、「子どもの支援を考える交流会」を3月に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、中止となった。	交流会数	0回	地域コミュニティ課	73

■成果目標

成果目標	計画書の記載内容		令和元年度の取り組み内容	成果指標	成果指数	担当課	計画書ページ
	★特に関係する取り組み	令和元年度の実施項目					
㉓ ボランティア活動をする人の育成 （目標値：第四次太宰府市地域福祉計画策定時に、個人的に、現在、ボランティア活動に参加している市民の割合が30%） （H28.7～8時点：地域福祉に関する市民アンケートで、自治会などの地域活動以外に、個人的に、現在、ボランティア活動に参加している市民の割合が7.3%）	ア、エ	・広報および育成の実施	ボランティア育成のため下記講座を開催。 ボランティア講座5回 地域支援コーディネーター育成講座4回 「みんなで学ぶ」防災講座5回 避難所運営ボランティア講座1回 社会福祉協議会とのボランティア講座2回 うめさろん相談会～ＮＰＯ法人編～9回 ボランティア情報等発信のため下記に取り組む。 だんぼ通信6回発行。 ボランティア団体一覧発行。 ボランティア団体紹介カード作成。 ホームページ、facebook、スタッフブログによる情報提供。	講座開催数	17回	地域コミュニティ課	74